



長崎南部森林組合諫早支所が「全国林業経営推奨行事」において農林水産大臣賞を受賞!!

林業課

長崎南部森林組合諫早支所が、令和5年度「全国林業経営推奨行事」において最高賞の農林水産大臣賞を受賞しました。

本行事は、森林の適切な管理及び林業の技術・経営の改善に努め、森林の多面的機能の発揮及び林業の持続的かつ健全な発展に寄与している「森林の管理経営体」を表彰するものです。この行事は、公益社団法人大日本山林会の主催で昭和37年から開催されています。長崎県からの農林水産大臣賞受賞は5件目となり、11月2日に受賞式が東京都で開催されました。

長崎南部森林組合諫早支所は、県中央部にあった4つの森林組合の合併に伴い、平成14年に支所として発足し、持続可能な森林経営、森林所有者への還元額の増加及び持続的な収入安定化を図ることを目標として、以下の取組を行ってきました。



長崎南部森林組合諫早支所 鶴田敏幸支所長

- 県内の他の林業事業体に先駆けて、森林所有者に対し施業内容や必要経費など、事業実施の収支見積を示す「森林施業プラン書」を活用した受託面積の拡大。
 - 高性能林業機械による効率的な作業システムを構築し、省力化やコスト縮減に取り組むことで、森林所有者の収益増加と作業員の所得向上に貢献。
 - 担い手の確保・育成に力を入れており、インターンシップの受入や作業員の処遇改善へ取り組んでいる。
- また、環境保全活動にも高い意識を持ち、再造林率は100%を誇り、高来町山林協議会と協力し、シャクナゲ林整備等の経済林以外の多様な森林づくりにも尽力。

現在も、積極的な職員の雇用や更なる労働生産性・技術の向上に取り組まれており、今後も長崎県の林業の発展に大きく寄与することが期待されます。



広葉樹（クヌギ）植栽作業風景



諫早農業高校生林業機械操作実習風景